

日韓 IT セミナー2016 開催報告

[テーマ：AI、ディープラーニングなどを活用したビジネス動向と事例紹介]

平成 28 年 9 月 8 日
JISA 国際部

平成 28 年 9 月 1 日 (木)、韓国・ソウル市 COEX コンベンションセンターにて、韓国情報産業連合会 (FKII) との合同セミナー、「日韓 IT セミナー 2016」が開催された。今年のテーマは「AI、ディープラーニングなどを活用したビジネス動向と事例紹介で、参加者は約 110 名。

FKII 常務理事 Jason Moon 氏の開会挨拶に続き、JISA から、浜野一典 副会長・国際委員会委員長より挨拶があった。



セミナーは日本側の講演、(株)富士通研究所 取締役(兼)知識情報処理研究所長 原裕貴氏より「富士通の AI 技術ブランド"Zinrai"とその技術」のタイトルで、"Zinrai"の紹介と、富士通研究所の先端技術を、応用事例を交えて説明があった。その後、韓国側 Saltlux Inc. President Tony Lee 氏より「韓国の IT テクノロジー」の講演が行われた。



続いて (株) NTT データ エボリューション ナル IT センタ AI ソリューション開発担当 課長 樋口 晋也氏より、NTT データが人工知能ビジネスに重要だと考えている 3 つの領域についての講演があった。休憩を挟み、韓国 Microsoft Sr. Technical Evangelist YoungWook Kim 氏より Microsoft の AI ビジネスについて講演が行われた。

その後、Preferred Networks, Inc. Chief Strategy Officer 丸山 宏氏より、「新しいプログラミングパラダイムとしてのディ

「オープニング」の講演の中で、統計的機械学習がいずれ私たちの日々の IT テクノロジーとして使われる日が来た時に何が起きるかについての説明などがあった。最後に韓国国内で注目されているベンチャー企業 **Lunit Inc. CEO Anthony S. Paek, PhD** 氏より「**Data-driven Imaging Biomarker**」というタイトルで、医療映像技術のこれまでの発展について講演が行われた。

セミナー終了後、多くの韓国側参加者が日本側講演者へ質問、名刺交換が行われ、幕を閉じた。

その後、場所を変え、FKII と JISA とで懇親会が行われ、これからも日本と韓国両国での情報交流の場を継続していくことの重要性を確認した。